

KiKiの広場

2020年 6月 1日

cafe NO.116
KiKi



新型コロナウイルス感染拡大防止の為に3月5日から臨時休館に入っていた「ヒストリア宇部」ですが、5月25日から再開となりました。さっそく、いつもご利用いただいていた皆さまが、「元気だった?」「待ってたのよ〜」よかったねえ。」と笑顔で来館してくださって、心から嬉しく思いました。感染拡大防止の為のお願いなど色々あり、皆さまには大変ご不便をおかけしますが、まずはお互いに健康で再会できたことを喜び感謝しながら、安全に楽しく過ごしていく為に、「ヒストリア宇部」として、すべきことを確実に実行するよう心掛けていきたいと思えます。



「絵本カフェ KiKi」も2月より休業しておりましたが、6月2日からなんと4か月振りの営業開始となります。ずっと心待ちにしてくださっていた常連さんも、再開をととても喜んでくださっています。また、6月から KiKi の定休日を、毎土・日曜日に月曜日も加えて週3日とさせていただくことになりました。ご迷惑をおかけしますが、これからも、「ヒストリア宇部」と「絵本カフェ KiKi」を、どうぞよろしくお願ひいたします。

6月の予定

休館日	9日(火)
定休日	毎土・日・月曜日
臨時休業日	10日(水) 30日(火)
臨時営業日	15日(月)



「今月のケーキ」…「ミルクレーフ」 350円



1枚1枚丁寧に焼き上げたクレープ生地と、自家製カスタードクリームと北海道産生クリームを合わせたダブルクリームを15層に重ね、天面にナパージュを塗って仕上げた、定番人気のミルクレーフです。

今月のお気に入り…「雨の季節を楽しむ絵本」

～「あめじょあじょあ」「ぴつつんつん」「ぞうくんのあめふりさんぽ」「たっちゃんのながぐつ」「おさんぽおさんぽ」などなど～



「あめじょあじょあ」は、韓国で出版された絵本で、絵は田島征三さんです。「雨はなぜ降るのか?」という問いかけに、「みずはめぐりめぐる」という力強い言葉によく表されています。「じょあじょあ」とは、韓国の言葉で雨が勢いよく降る様子を表すそうです。雨があがって空にのぼっていく水蒸気の絵が、 ぴつつんつん ともきれいです。「ぴつつんつん」は、「あめがつんつん、ぴつつんつん〜」と、踊るような言葉と絵が、心から「雨って楽しい!」と感じさせてくれる絵本です。

今月の本棚…「おとうさんが出てくる絵本」

～「とうさんはタツ/オトシゴ」「おとうさんのえほん」「おとうさんのえほん その2」「ねずみのとうさんアナトール」など～



「とうさんはタツ/オトシゴ」は、タツノオトシゴのお父さんが、ポケットの中で卵を育てるお話です。でも海の中でのイクメンは他にもいっぱいありました。エリック・カールの素敵な絵が、世の中のお父さんたちにエールを送っているようです。「おとうさんのえほん」の作者は高島純さんです。いろいろな動物のお父さんたちが出てきますが、お父さんのちょっと困った愛らしい姿が、高島さんのとぼけた絵で描かれていて、ぷぷぷっと口元がゆるんでしまう楽しい絵本です。



ほっとフレイク

ヒストリア宇部の正面玄関に向かう芝生のスペースが、おしゃれな空間になりました。



落ち着いた色のパラソルと、色とりどりの薔薇。

ご自由にご利用ください。また、「カフェ KiKi」のケータリングやテイクアウトも、 でお楽しみください。

